



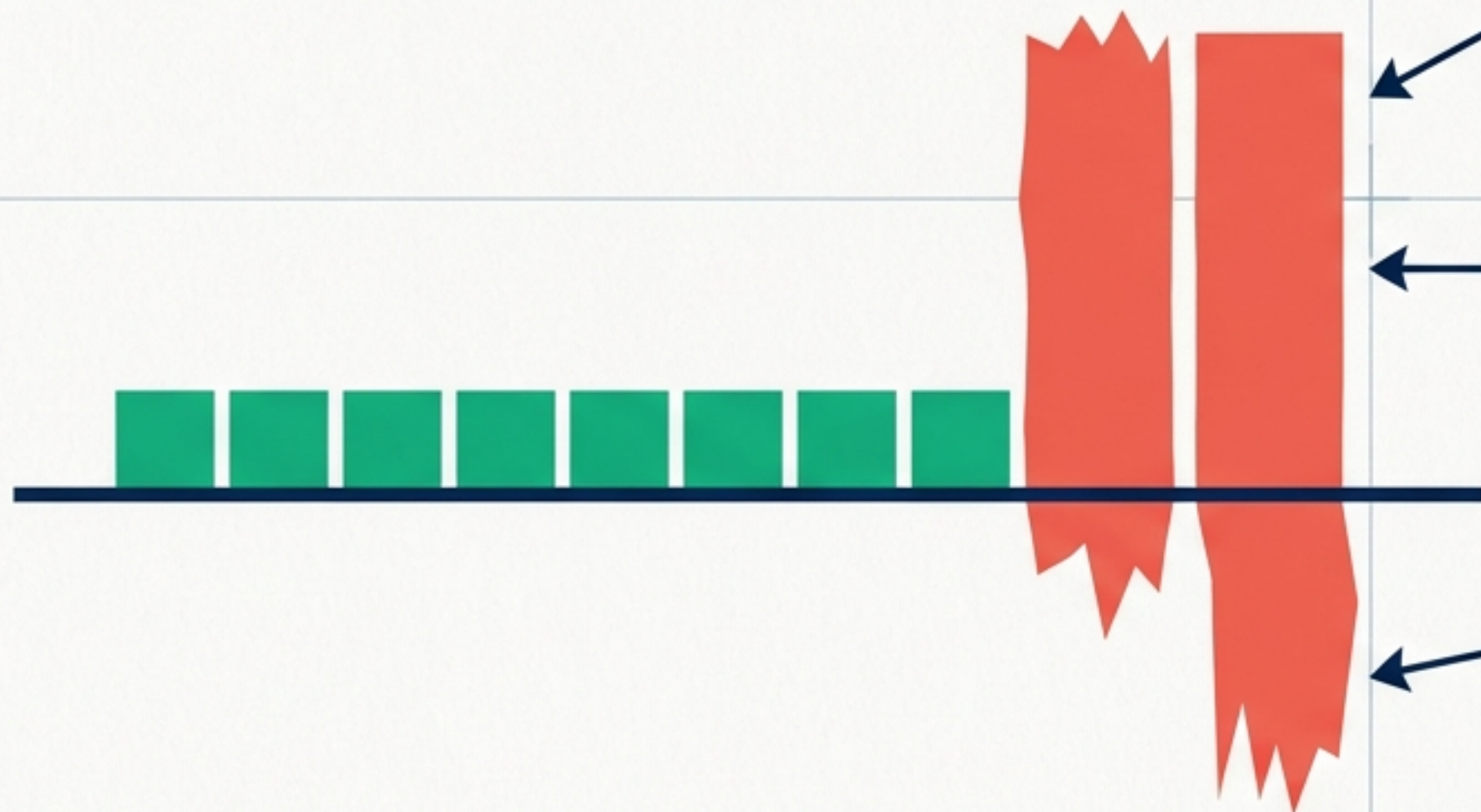
プロが実践する「勝率5割でも利益が残る」トレードの設計思想

当てる快感を捨て、期待値を積み上げるシステム構築法

初心者が陥る「勝率至上主義」の罠

勝率が高いことと、お金が残ることは全く別の問題です。

勝率80%の崩壊



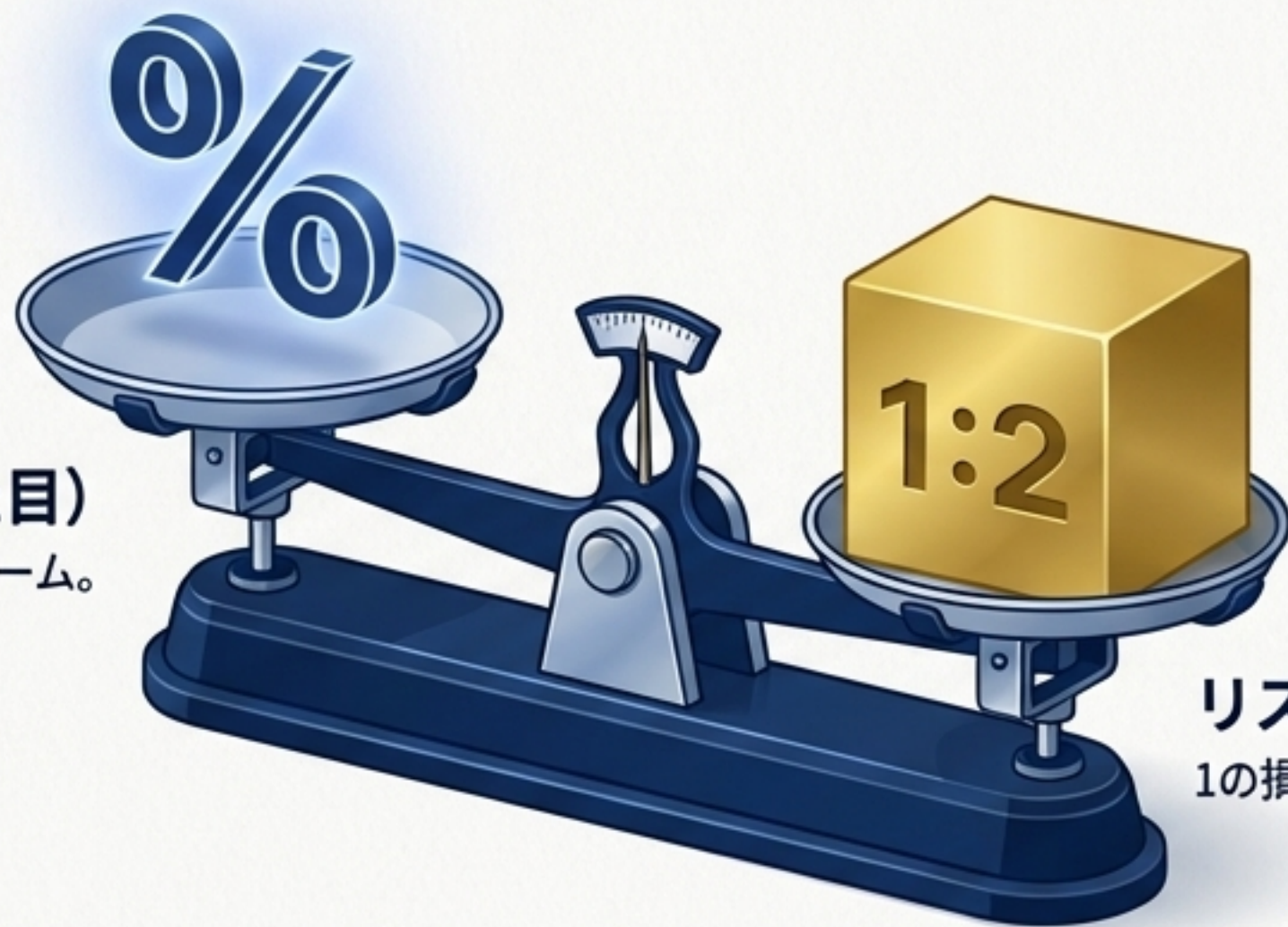
小さく利確しすぎる (利益の限定)

損切りをずらす・含み損を祈る
(損失の無限大化)

結果：一度の負けで何回分もの
利益を吹き飛ばす

「当てる快感」を追い求めると、トレードのシステムは根底から壊れます。

プロは「正解率」ではなく「回収率」を見る



勝率（見た目）

何回勝ったかの割合。単なる正解当てゲーム。

リスクリワードと期待値（中身）

1の損失リスクに対し、何倍の利益を狙うかの比率。

野球のメタファー

毎打席ホームラン（勝率100%）を狙う必要はありません。
大切なのは、トータルの得点で相手を上回ることです。

店舗経営のメタファー

全ての商品で大儲けしなくても、利益が出る「設計」があれば店は生き残ります。

勝率5割でもプラスになる「数学的証明」



10回中何回当てたかより、「勝った時にどれだけ取り、負けた時にどれだけ小さく済ませたか」がすべてです。勝率5割でも、RRが1:2なら十分な利益が残ります。

「勝率5割で勝ち残る」手法の基本設計

利益が残るシステム



トレンドに逆らわない

上位足の波に乗り、押し目買い・戻り売りのみを狙う。(逆張り禁止)



損切りを先に決める

エントリー前に「想定外」の許容ラインを設定し、必ず守る。

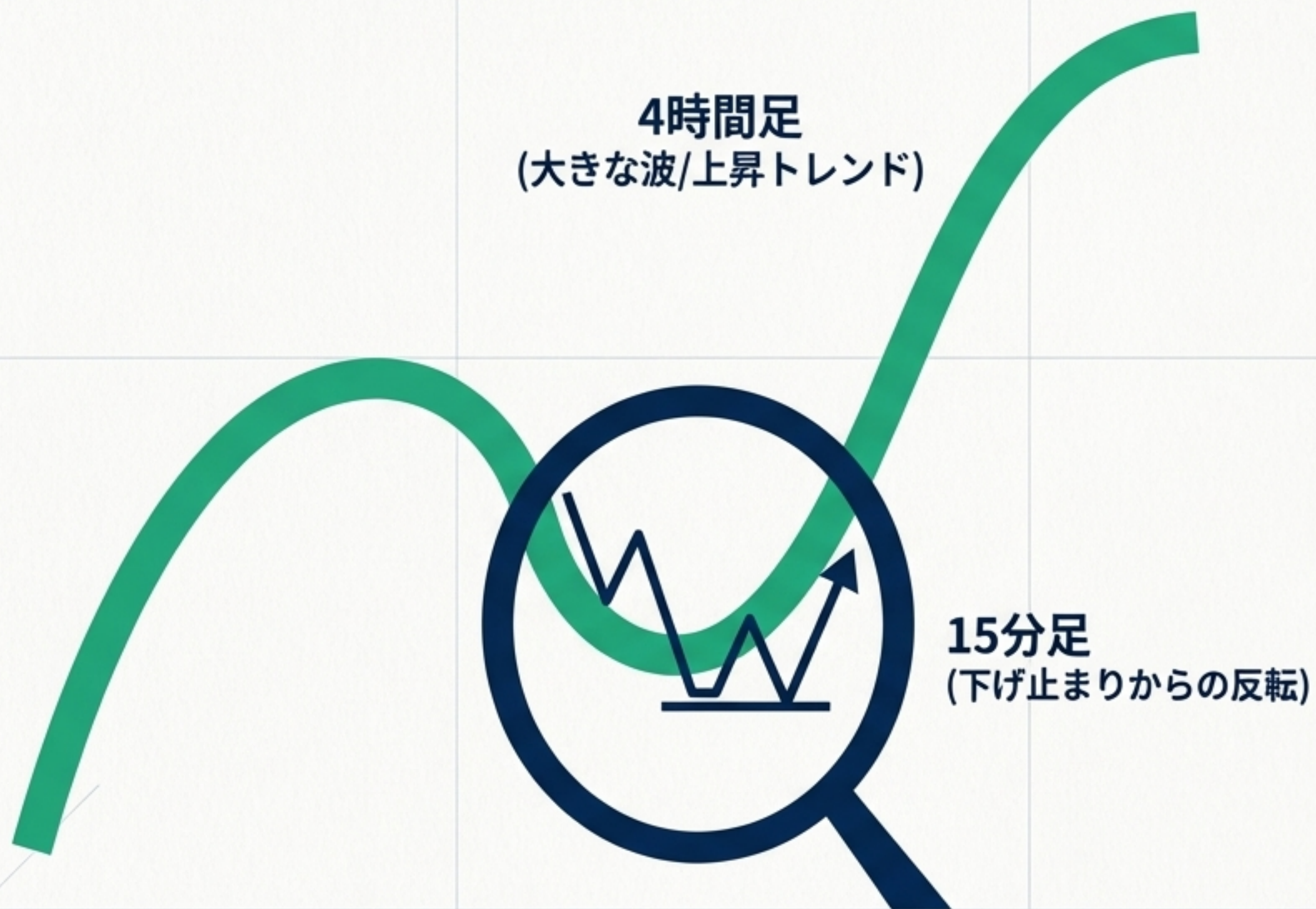


リスクリワード 1:2 以上

狙える利益が、許容する損失の2倍以上ある場所でのみ戦う。

全部を取ろうとせず、「条件の良いところ」だけを機械的に抜き取るのがプロの設計です。

エントリー条件の設計（マルチタイムフレーム）

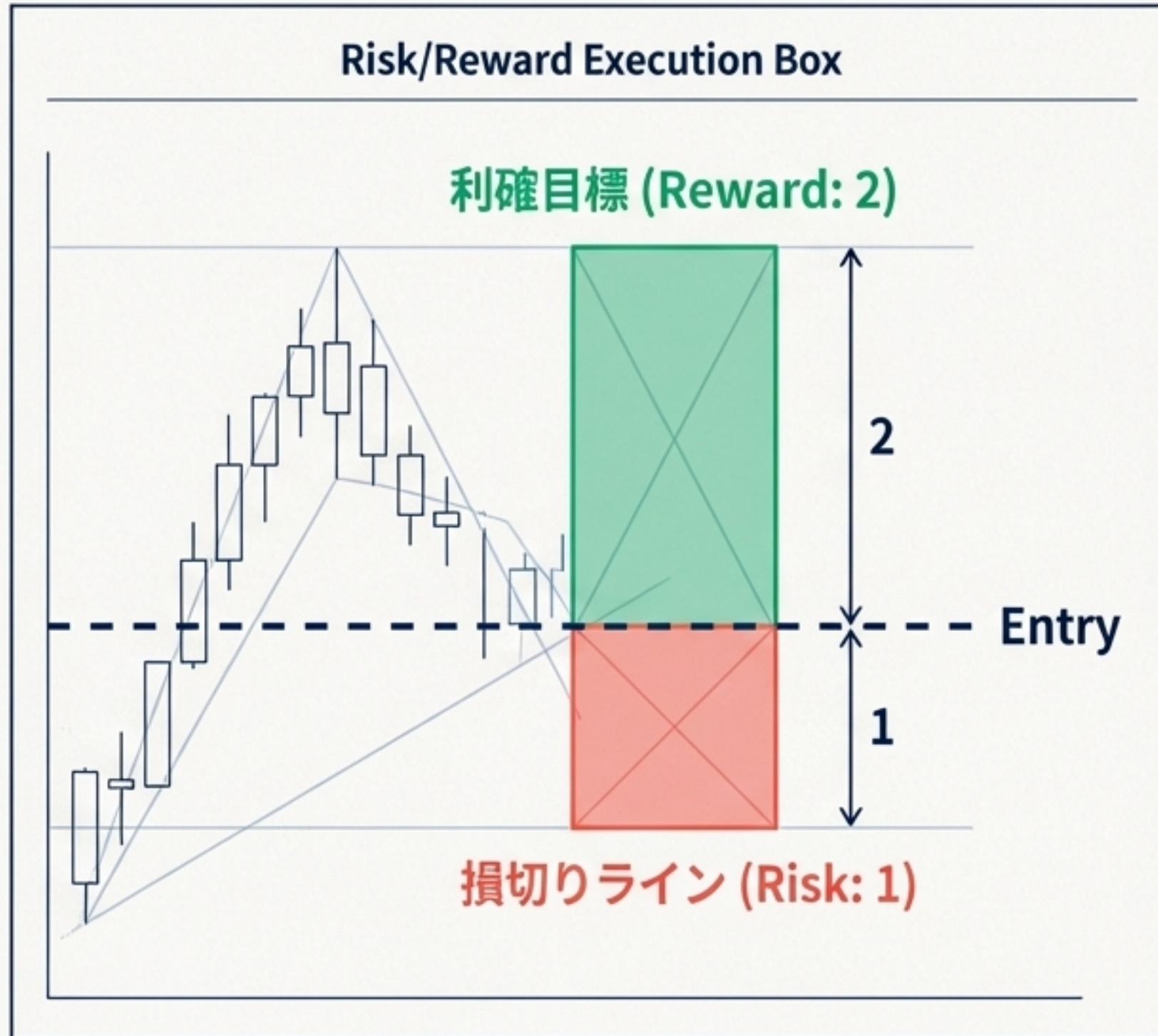


買いの絶対ルール

1. 環境: 4時間足で上昇トレンドが明確である。
2. 収縮: 価格が一時的に下落（押し目）を作っている。
3. 反転: 15分足で「下げ止まり」のサインが出る。
4. 防衛: 直近安値の少し下に、論理的な損切りラインが置ける。
5. 期待値: 利確目標まで「1:2」以上の比率が確保できる。

根拠が弱い、または1:2が取れない場合は「見送る」のが正解。

決済は「気分」ではなく「作業」である



損切り (Risk) の設計

- エントリー後に気分で動かさない。
- 「このシナリオが崩れたら撤退」という論理的な位置に置く。
- 損切りは負けではなく、想定外を小さく処理する作業です。

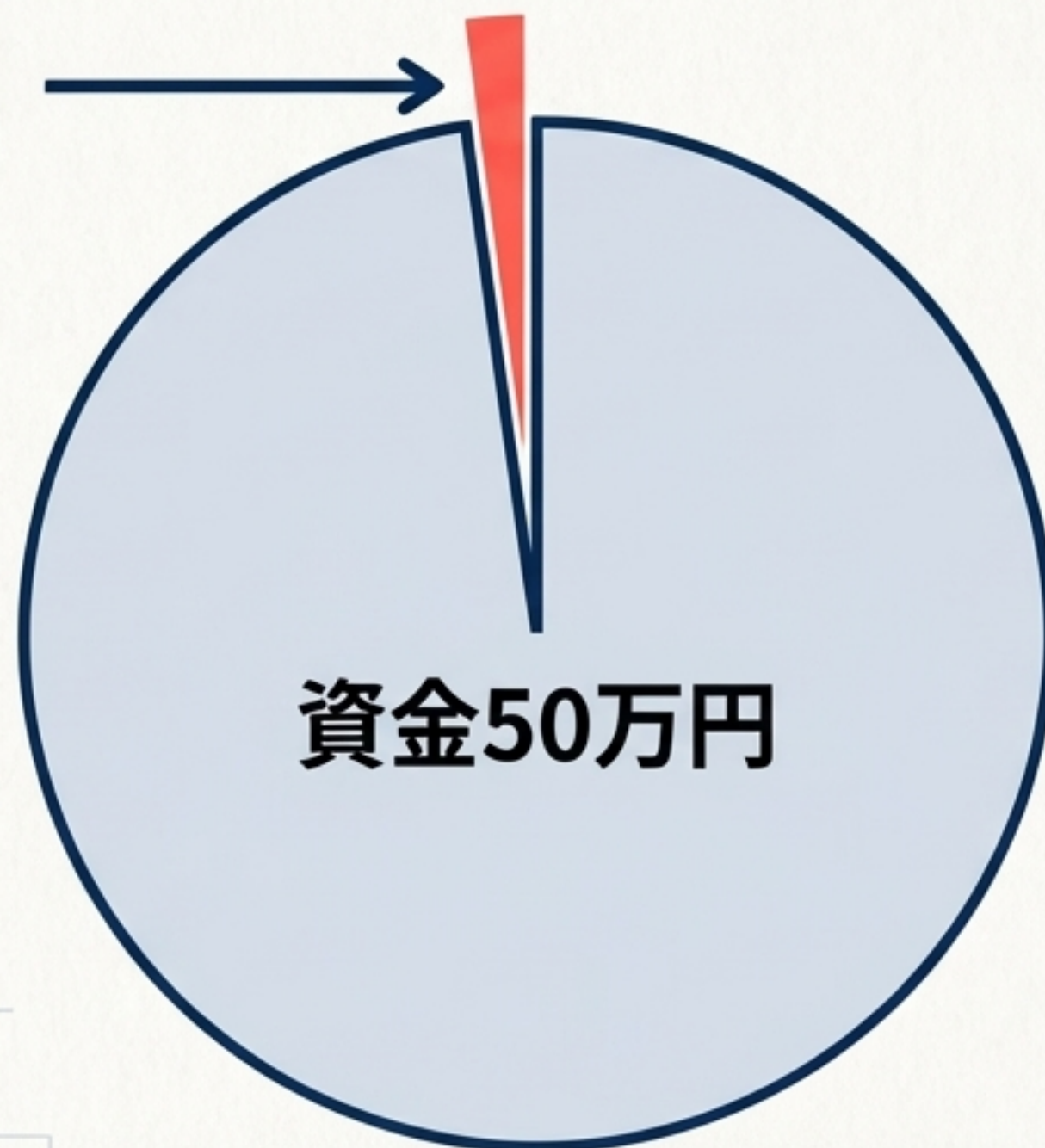
利確 (Reward) の設計

- 直近高値・安値や上位足の節目をターゲットにする。
- 最低でもリスクリワード1:2を確保する。
- 利確は欲ではなく、設計通りに資金を回収する作業です。

資金管理：破綻しないための絶対的な盾

資金管理を入れないと、いかに優れた手法も機能しません。連敗しても破綻しないことが最優先です。

1回の許容損失：
5,000円～1万円
(1～2%)



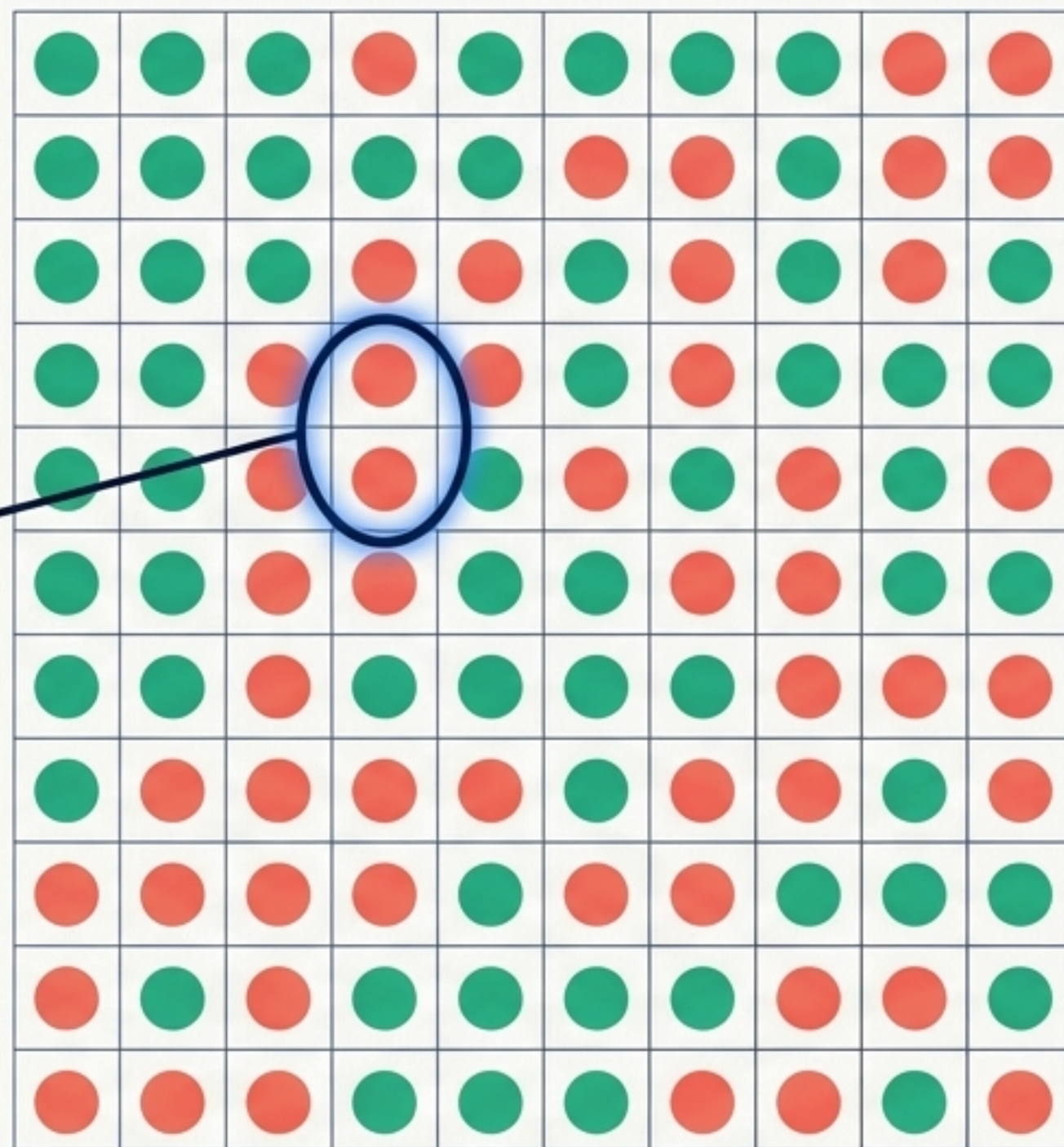
The 2% Rule

- 1回のトレードでの損失は、総資金の「1～2%以内」に限定する。
- ロット数は、この「許容損失額」と「損切り幅」から逆算して決める。
- ロット数を「気分」や「自信の有無」で絶対に変えない。

プロは増やす前に、まず退場しない
(死なない) 設計を作ります。

大数の法則：1回ではなく「母数」で評価する

局所的な連敗
(ノイズ)



人は勝率5割で負けが続くと不安になり、ルールを破棄したり、損切りを拒否してしまいます。

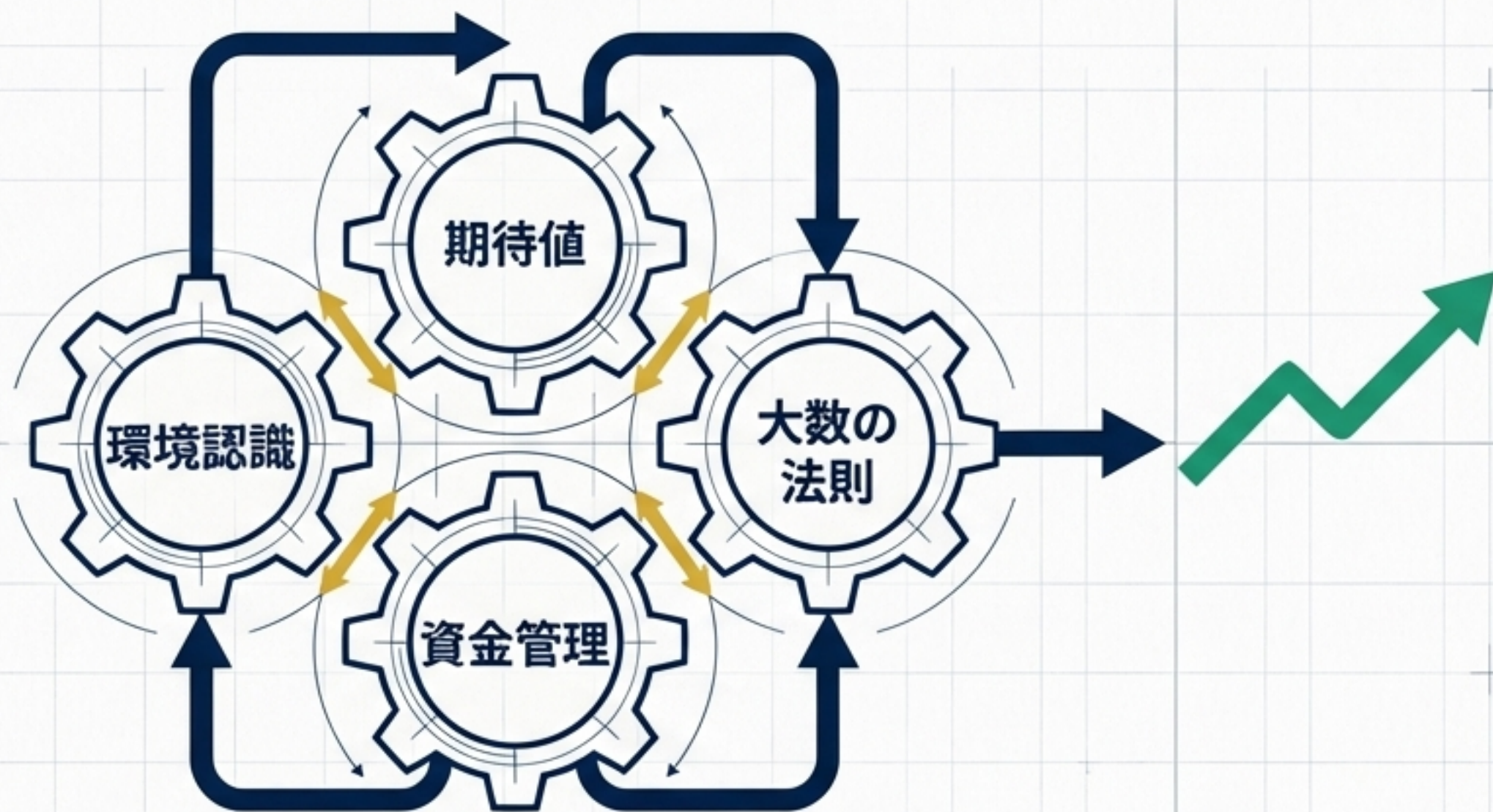
- 手法は「単発」ではなく「母数」で見る。
- 1回、2回の結果に意味を乗せない。
- 10回、50回、100回の連続試行でシステムを評価する。

目の前の1トレードで人生は変わりません。しかし、その1回の雑な行動が積み重なると、人生が変わってしまいます。

思考の現在地診断 (Diagnostic Matrix)

	アマチュアの行動	プロの設計
目的 Focus	「 勝率・当てること 」を重視	「 期待値・残すこと 」を重視
場所 Entry	「 当たりそうな場所 」で入る	「 1:2が取れる場所 」でのみ入る
決済 Exit	含み損を祈り、 損切りをずらす	決済を「 機械的な作業 」としてこなす
結果 Result	大勝ちしても最終的に「 資金が減る 」	負けを混ぜながらも「 利益が残る 」

FXは「当てるゲーム」ではない



利益を伸ばそうとすると、勝率は自然と5割前後に落ち着きます。プロは『全部取る』のではなく『条件の良いところだけを取る』ため、勝率よりも回収効率で勝つのです。

勝率5割だからこそ、感情を排した精密な「設計」が必要になります。

FXはどれだけ当てるかのゲームではありません。
「利益が残る行動を、どれだけ繰り返せるか」のゲームです。



当てる快感を捨て、利益を残す設計者になれ。

今日からチャートを見る目線を変えてください。
「ここは当たるか？」ではなく、「ここはリスクワード1:2が組めるか？」
と問いかけることから、すべてが始まります。
あなたのトレードシステムを、今すぐ再設計しましょう。